

令和7年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

# 相双域内選考作品集

おも 未来に届ける 十七字 ~  
~つながる 想い 未来に届ける 十七字 ~

(令和7年度キャッチフレーズ)



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『ふれる思い福島』

佐藤 羽菜（さとう はな）さん

県立原町高等学校2年

裏紙絵

題『旅する少女は思い出をつれて』

佐藤 玲那（さとう れいな）さん

県立原町高等学校1年

写真提供：相馬野馬追執行委員会

## 令和7年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

### 相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動を通して、感じた思いや願いを17音で表現し、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

平成14年度にスタートした本事業は、今年度で24回目を迎え、県全体で36,166組の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,161組、「ふるさと部門」に1,720組、合計5,881組の応募をいただきました。その中から最優秀賞に1組、優秀賞に1組、佳作に5組が入賞しました。県全体の36,166組の中から選ばれたことは、すばらしいことです。

この選考作品集は、相双域内から応募された5,881組のうち、入賞作品、二次審査通過作品及び一次審査通過作品の311組をまとめたものです。

今年度の「絆部門」では、家族との会話や家庭での様子の一場面を切り取って詠んだものなど、心が温まる作品が多かったように感じました。特に今回は、高校生からの応募もあり、一段と盛り上がりました。「ふるさと部門」では、伝統行事「野馬追い」が昨年から5月の開催となったこともあり、初夏の様子や、人と馬との関わりを詠んだ作品も寄せられました。

このようにたくさんの応募があることは、非常に喜ばしいことです。本事業が長年皆様に親しまれ、地域や家庭でのふれあいの一助となっております。これからも人と人との関わりを深め、自然やふるさとを愛する心（愛郷心）にも気づかせてくれるよい機会になるものと信じ、多くの方々からの応募をお待ちしております。

結びに、毎年本事業に御協力をいただいております各市町村教育委員会を始め、退職校長会各支部、各学校並びに作品を応募された皆様に、心より感謝申し上げます、刊行のあいさつといたします。

令和8年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 山本 秀和

#### 【掲載作品組数】

所属学年	絆部門	ふるさと部門
小学1年生	23	10
小学2年生	23	8
小学3年生	22	11
小学4年生	25	8
小学5年生	21	10
小学6年生	22	13
小学生計	136	60
中学1年生	25	9
中学2年生	25	14
中学3年生	17	11
中学生計	67	34
高校生	12	2
合計	215	96

令和7年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」  
相双域内ふれあい学校賞

新地町立福田小学校

新地町立新地小学校

新地町立駒ヶ嶺小学校

相馬市立大野小学校

相馬市立山上小学校

相馬市立八幡小学校

相馬市立中村第二小学校

相馬市立磯部小学校

相馬市立日立木小学校

南相馬市立原町第一小学校

南相馬市立原町第二小学校

南相馬市立原町第三小学校

南相馬市立高平小学校

南相馬市立大甕小学校

南相馬市立太田小学校

南相馬市立石神第一小学校

南相馬市立石神第二小学校

南相馬市立鹿島小学校

南相馬市立上真野小学校

南相馬市立小高小学校

浪江町立なみえ創成小学校

双葉町立双葉南小学校

双葉町立双葉北小学校

楢葉町立楢葉小学校

広野町立広野小学校

新地町立尚英中学校

相馬市立中村第一中学校

相馬市立中村第二中学校

相馬市立向陽中学校

南相馬市立原町第一中学校

南相馬市立原町第三中学校

南相馬市立石神中学校

広野町立広野中学校

川内村立川内小中学園

福島県立原町高等学校

最優秀作品（絆部門）

浴衣紐 中村一中 三年 木村 華乃

祖母の温もり  
ほどけずに

祖母 齋藤 勝子

よみがえる  
譲りし衣に

夏の風

夏祭りの夜、祖母に浴衣を着せてもらったことを思い出しました。その手の温もりは、ほどけることのない絆のように感じました。（孫）  
私が五十年前に着ていた浴衣を孫に着付けをしました。孫が引き継いでくれた嬉しさをこめました。（祖母）



優秀作品（ふるさと部門）

更地にも 母 栗村 由賀利

未来を刻む  
たいこの音

中村二小 三年 栗村 菜央

ちようちゃんが  
明るくてらす

みんなの笑顔

私が昔住んでいた場所は、津波で家ごと流されてしまいました。今は更地になり、草が生えています。そこには家族や友達と過ごした大切な思い出が残っています。そのあと地で、盆踊りが開かれ、踊る子を見て、失われた日々を思い出す切なさ、子供達が新しい思い出を作っていく希望の両方を感じたので、作品を作りました。（母）  
お盆で盆踊りをやった場所が母の昔住んでいた所だったのでみんなで楽しく踊ったことが印象に残っているから、これを作りました。（子）

佳作作品（絆部門）

父の手と  
中村二小 五年 佐藤 拓

同じ縄引く  
夢の朝

父 佐藤 勇二

朝焼け  
網を引く背が  
語る夢

お父さんのあとを継ぎ漁師になりたい、その未来を夢見る。(子)  
息子に働く父の姿の中に、夢と想いがある事を伝えたくて。(父)

鹿島中 二年 森 結愛

伝統と  
誇り受け継ぎ  
馬駈ける

父 森 宏之

夢託し  
娘と並ぶ  
お野馬追い

父の使っていた馬道具をつけ野馬追いに出席したが、いつか一人でも走れるようになりたいと思った。(子)  
親から子へ馬道具や鎧等を受け渡し使う姿を見て嬉しかった。(父)

佳作作品（ふるさと部門）

中央大学 三年 藤田 拓大

帰るたび  
変わらぬ景色  
胸あつく

石神二小 六年 藤田 結菜

兄を待つ  
北泉の砂  
あつくなる

大学進学を機に、南相馬を離れ普段は東京に暮らして三年になった。帰省のたびに目にする海や田畑、遠くの山並みは昔から変わらない姿で迎えてくれている。また、そのような自然は以前当たり前すぎて気付けていなかったが、今では「ふるさと」が迎えてくれたと胸を熱くする存在となっている。この熱い気持ちを表現した。(兄)  
北泉の海開きになると、そろそろ夏休みに入るのでそろそろ兄が帰ってくるなと思うと、砂浜の砂も熱くなり心も熱くなるから。(妹)



野馬追の中村一中 一年 大江 咲太郎

歴史がひらく  
大手門

祖母 今野 孝子

陣螺の音を合図に  
いざ開門

今年も新たな歴史の一ページを開いて出てくる騎馬武者達の姿に感動しました。（孫）  
大手門の所で行列を見るのは初めてのことでした。開門する時の鼓動の高鳴りが忘れられません。（祖母）



向陽中 二年 島 大将

母が言う  
思い出の場所  
そこに立つ

母 島 七絵

思い出す  
子が立つ場所に  
あった家

母の育った場所、家のあった場所に、連れて行ってもらったからです。（子）  
息子と一緒に元の家があった故郷へ行った際、昔を思い出して作ってみました。（母）

二次審査通過作品（絆部門）

捨てちゃダメ！ 小さいころの お気に入り	原町一小 二年 母	岡田 結愛
子の成長 感じて断捨離 進まない	大麩小 三年 母	岡田 美奈
マイほうちよう 切るのは私に まかせてね 出した手 こらえて褒める 頼もしさ	鹿島小 三年 母	安斎 暖乃 安斎 千鶴
たまにはね うたってほしい こもりうた 思い出す 小さい頃の 寝かしつけ	原町一小 四年 祖母	渡邊 真織 渡邊 沙織
気をつけて 段差があるよ 手をつなごう 孫の手を 頼りに歩く 歳になり	石神一小 四年 母	小畑 あい奈 実戸 加代子
やぐらから たいこひびいて 胸はずむ ゆれる灯 かつての私も ここにいた	中村二小 六年 母	佐藤 凛 佐藤 会美
母ちゃんの 仕事の多さに 脱帽だ 俺やるよ 時々聞ける 愛言葉	中村一中 二年 祖父	森 理稀丸 森 ひとみ
祖父の技 学びとろうと 夜稽古 我が剣を 余さず孫に 伝えたい	なみえ創成中 三年 母	和氣 皓生 金子 宗一
苛立ちを 言葉にできない もどかしさ 見守ろう 顔から伝わる その気持ち	原町二小 五年 母	島山 泰稀 島山 寿美江

二次審査通過作品（ふるさと部門）

風を切り 集まる姿 万華鏡 旗揚げ 羊腸の坂 駆け上げられ	原町二小 五年 母	田村 謙登 田村 賢枝
-------------------------------	-----------	----------------

一次審査通過作品（絆部門）

【小学校 一年生】

ばあちゃんの てづくりきゅうり せかいいち 孫の笑み ばあちゃん元気の くすり箱	福田小 一年 曾祖母	荒 成璃菜 荒 けさを
またやろう あめがふったら くさむしり 一つの間に 小さな子 戦力に	新地小 一年 母	佐藤 菜名 佐藤 裕子
夏休み 毎朝じいじと 野菜採り 夏野菜 孫と一緒に 急成長	駒ヶ嶺小 一年 祖父	太田 岳 太田 重雄
おかあさんと ばあばのえがお おんなじだ 鏡見て 思い浮かべる 母の顔	駒ヶ嶺小 一年 母	向谷地 楓 向谷地 香菜
まamiてね ひまわりみたいに のびたよね 背くらべ 子とひまわりと 空のした	中村二小 一年 母	小賀坂 柚 小賀坂 美乃里
げんかんを あけてふみだす 「いってきます」 できるなら ついてゆきたい 親心	桜丘小 一年 母	斎藤 晴斗 斎藤 早苗
いついける？ きめつのやいば たのしみだ 手伝いは？ 母が最初に 鬼になる	桜丘小 一年 母	阿部 瑛仁 阿部 芳枝
はがぬけた じいじとおなじ はっかけた 入れ歯とり 孫にみられて すくはれる	原町一小 一年 祖父	松坂 有紗 松坂 義秀
だいびんち はしがみつく ロープウェイ 怖くない 子に励まされ 笑われる	原町一小 一年 母	菊池 菜生 菊池 和香
まかせてよ わたしがかわりに ぜんぶやる お手伝い 感謝とスリルが 止まらない	原町二小 一年 母	桑葉 陽菜 桑葉 歩
たまごやき おかしやさんの ままのあじ この甘さ 火加減共に 受けつがれ	原町二小 一年 母	大渡 心葵 大渡 栄里
まamiてて じてんしゃのれたよ うれしいな じてんしゃに のれたすごいね あさの5じ	原町三小 一年 母	吉岡 尚大 吉岡 友里
かわいいよ わたしのかさは きりんのえ 雨の下校 首長くして 君を待つ	原町三小 一年 父	柴田 莉帆 柴田 智一
くちぶえは へびがくるから いけません やめられない 娘の注意が かわいくて	大麩小 一年 母	村上 ゆめ 村上 祥子

おかいもの だいすきなぐみを がまんする  
物価高 食費切り詰め もやしだけ

石神一小 一年 高島 優吾  
母 高島 芳恵

すこいでしょ めざましならずに めがさめた  
早起きは わたしとあなたの ふたり時間

桜丘小 二年 仁田 杏美  
母 仁田 瑠美

ママみてよ たくさんやったよ まるつけて  
後ろから 丸つけじつと 見つめてる

石神二小 一年 一條 菜那  
母 一條 彩香

見えたかな じいちゃんまだかな まってるよ  
新盆の 灯籠の下 待つ娘

磯部小 二年 佐藤 未来風  
父 佐藤 淳

ままずるい わたしがねたあと すきかって  
やつと寝た ほっと一息 私時間

石神二小 一年 志賀 日葉里  
母 志賀 彩

にぎにぎ きゅ ママのおにぎり おいしな  
にこにこで 食べるきみ見て うれしいな

日立木小 二年 上遠野 咲音  
母 上遠野 朱音

ツバメさん げんきにすだつた またきてね  
見送って いつか君もと 思う夏

小高小 一年 岩井 結衣花  
母 岩井 愛子

いってきます しゅうだんどうこう いそがなきや  
母走る 持っていてよ ランドセル

原町一小 二年 大内 あさひ  
母 大内 彩奈

にんじんを こそとりパバの おさらにポン  
パパだって ながてだからと ママのさら

なみえ創成小 一年 西岡 恋叶  
父 西岡 貴成

テレビつけ ボクの一日 はじまるよ  
ママはAー 孫はユーチューブ 同etc

原町一小 二年 加藤 翔真  
祖母 堀川 寿子

しゆくだいの まるつけたんどう おにいちゃん  
丸つけた 赤丸たくん がんばつた

榎葉小 一年 大和田 海有  
三年 大和田 惟月

ママがおす ブランコたたく たのしいな  
「もう一回」 笑顔に負けて 何度でも

原町二小 二年 桂島 奈々未  
母 桂島 真子

おいしいよ ままのきもちが あたたまる  
涙出る また作つてと 聞ける日々

榎葉小 一年 高梨 湖晴  
母 高梨 里紗

イヤイヤだ いけばたのしい 学校へ  
イヤイヤ期 無理に連れてく 親心

原町三小 二年 藤家 煌月  
母 藤家 史子

れいぞうこ めざしてしんちよう のびてきた  
抱き上げて 感じる成長 しみじみと

広野小 一年 鈴木 結仁  
母 鈴木 友美

左きき 休みにとつくん 右ききへ  
慎重に 右ききで書く 頑張つて

原町三小 二年 村田 奏音  
叔母 菅野 友香

脇に寝る 孫の動きは 格闘技  
ハマばあの へやおとまり うれしいな

いたて希望の里学園 祖母 庄司 ハマ子  
一年 庄司 碧音

もぐれたぞ つぎはおよぐー プールでね  
見ていてね！ 何度ももぐり 得意顔

高平小 二年 佐藤 壮真  
母 佐藤 早織

### 【 小学校 二年生 】

見ていてね カいっばい ベダルこぐ  
あと少し 乗れるよ絶対 頑張つて

新地小 二年 菅野 鈴  
新地小 五年 菅野 蒼

ひいばあちゃん 今日のかみがた 三つあみね  
手鏡で 笑い我慢の 二十分

石神一小 二年 堤 一葉  
曾祖母 林 紀久子

ままの手は わたしをいやす まほうの手  
娘の手 温もりくれる 充電器

大野小 二年 坂元 栂凛  
母 坂元 真理奈

眠る顔 そつと毛布を かける夜  
おこられて でもハグされた うれしい日

鹿島小 二年 但野 真利  
母 但野 亮

たのしくて こわさわすれる てんぼうだい  
ふるえてる 父娘 水色の海

八幡小 二年 竹内 琴音  
父 竹内 弘宗

遠くても一緒にゲーム できる時代  
ほんとはね 会ってほしい 話したい

上真野小 二年 豊田 真由美  
母 豊田 莉子

目がさめた ミンミンゼミの なきこえで  
虫とりへ ほんとは寝てたい 盆休み

中村二小 二年 早川 瑛登  
祖父 齋藤 伸二

そうめんと トマト流して とりあいに  
トマトはね なかよく食べて たのしもう

富岡小 六年 横田 向晴  
富岡小 二年 横田 陸穂

母の日に パバとえらんだ プレゼント  
またひとつ 今年も増えた 宝物

富岡小 二年 三木 悠慎  
母 三木 由利香

ママきいて なんばんにね わたしがすき  
耳元で 一番好きよ ひみつだよ

榎葉小 二年 菊田 沙紀  
母 菊田 春栄

なつやすみ いつもいっしょの おばあちゃん  
夏休み 孫と一緒に 遊ぶ日々

広野小 二年 黒田 瑞葉  
祖母 黒田 倫子

しゅくだいの 「スイミー」音読 聞いててね  
次ばあば 「スイミー」音読 「脳トレ」よ

川内小 二年 松崎 鈴名  
祖母 松崎 晴子

### 【小学校 三年生】

お母さんと 速さ合わせて 汗をかく  
夕焼けに 会話はすむ ウォーキング

新地小 三年 唯野 琴色  
母 唯野 智里

忘れるな なみだをながした あの試合  
日々努力 一緒に流した 光る汗

駒ヶ嶺小 三年 目黒 亜季  
父 目黒 文和

たくさんのお 思い出できた またくるね  
最終日 行きより増える 慈しみ

大野小 三年 岡田 凛  
母 岡田 あや

楽しみに にわのスイカ 母と見る  
まだかなと スイカに光る 子の瞳

八幡小 三年 荒 翔太  
母 荒 穂奈美

夏の空 はたらく祖父の 日焼けあと  
我が父よ 毎日猛暑 汗だくだ

中村二小 三年 林 音羽  
母 林 夏海

待ってるよ まくらかしてね ぼくねてる  
点滴と にらめっこする 孫の顔

中村二小 三年 鈴木 稀叶  
祖母 鈴木 トシ子

もっとして 前はいっぱい してくれた  
宙に舞う 娘見上げて 息切らす

中村二小 三年 高橋 采世  
父 高橋 晃平

さむいかな ねている母に そっとかけ  
本当は 寝たふりしてた ありがとう

日立木小 三年 北原 瑚心羽  
母 北原 有沙

びっくりだ パバが校歌を 知っている  
そりゃそうだ パバはこの 卒業生

原町一小 三年 佐川 尚保  
父 佐川 保良

ただいまの 合図とともに 麦茶飲む  
五リットル 作れどなくなる 麦茶かな

原町一小 三年 佐藤 利琥  
母 佐藤 知賀子

がんばるよ そうじにせんたく お手伝い  
「わたしやるー」 成長感じる 子の背中

原町二小 三年 萩原 結愛  
父 萩原 成晃

パバくさい お酒とたばこの ハイブリッド  
加齢臭 夜ふけに一人 酒を飲む

原町三小 三年 末 歩士  
父 末 裕幸

ふるあがり ぬれたまままつ かわかつて  
乾かして いっつまで聞ける この言葉

原町三小 三年 牛来 優月  
父 牛来 浩希

お父さんの おなかがうちゅう一のまくら  
幸せを 感じる隣の 子の寝顔

石神二小 三年 八巻 ゆうひ  
父 八巻 裕太郎

雷の けたたましい音 ビビル母  
外よりも 中の雷 おそろしい

石神二小 三年 村上 由香  
母 村上 結莉

夏休み すいかの中を たんけんだ  
「探検！」と すいかの種を 掘る我が子

石神二小 三年 渡部 遥  
母 渡部 三枝子

親子ツバメ 離乳食時代を 思い出す  
えらいでしょ ビーマンだって 大好物

鹿島小 三年 湯澤 佳奈子  
母 湯澤 ひなた

うれしいな 大人にちかづく たんじょうび  
いつからか よろこびぶらす さみしさも

鹿島小 三年 鎌田 瑚夏  
母 鎌田 亜希恵

なみにのる 父がおきから グツとサイン  
沖に出て 二人で波待ち ファンウエーブ

小高小 三年 清水 凛  
父 清水 聖也

みずでっぼう わたしはむてきた かかってこいー  
キャーやめてー ママのおしりは まとじゃないー

榎葉小 三年 上野 陽愛  
母 上野 里名花

ありがとう 家族の声援 自信つく  
負けないぞ 全力応援 声からす

新地小 四年 三上 鈴奈  
母 三上 郁衣

ママがきた すぐにねたふり でもばれた  
長年の 勤が働く さるしばい

新地小 四年 早川 紗菜  
母 早川 麻奈美

### 【小学校 四年生】

私はね はなじゃないよ かのあだよ  
 おばあちゃん 孫の名前を みんな呼ぶ  
 雨あがり ママと見つけた にじきれい  
 雨のあと 虹を指す手が 空にのび  
 自転車で 父といっしょに 走る夏  
 子と二人 心合わせて ペダル漕ぐ  
 わかるかな なんの野菜か 苗クイズ  
 父つくる 畑でおぼえる 夏野菜  
 ビートパン 持って泳いで 楽しいな  
 つないだ手 いつの間にやら ビートパン  
 こわいけど 力をぬいて フクフクパ  
 離れた手 見守る視線 泪が泳ぐ  
 暑すぎて 体がとけて なくなりそう  
 少しでも 日陰を探して 歩く母  
 夏バトル！ 母のこうげき 宿題は？  
 終わらない 連続こうげき スルーされ  
 朝さんば 色んな発見 楽しいな  
 親と子で 散歩で分かる 子の成長  
 心がけ 言葉つかいを 気をつける  
 子どもたち 親の言葉を 真似してる  
 母親へ 寄り添う時間 もうこない  
 いつまでも いると思うな パパとママ  
 新天地 ちゃんとあいさつ できるかな  
 転校で 手続き多く 余裕なし  
 試合数 強くなつてく 経験値  
 代償は 睡眠不足と 遠征費  
 夏休み ひみつとっくん 父さんと  
 いやキツイ 少し休もう 足痛い

八幡小 四年 菅野 楓彩  
 中村二小 四年 佐々木 美心  
 桜丘小 四年 橘川 直生  
 父 橘川 直広  
 桜丘小 四年 吉田 耕明  
 父 吉田 陽咲  
 日立木小 四年 木幡 宗佑  
 父 木幡 好孝  
 原町一小 四年 川島 菜愛  
 父 川島 大伸  
 原町一小 四年 綾部 颯愛  
 母 綾部 いずみ  
 原町二小 四年 達坂 大和  
 母 達坂 梢  
 原町三小 四年 佐野 友清  
 父 佐野 清真  
 原町三小 四年 平山 克磨  
 父 平山 弘克  
 原町三小 四年 黒澤 信一  
 父 黒澤 藍咲  
 原町三小 四年 シュエボーエイン  
 母 タジンモー  
 高平小 四年 鈴木 大花  
 母 鈴木 佳代  
 石神二小 四年 田邊 陽斗  
 父 田邊 直孝

おやさいを たねからうえた ほうさくだ  
 物価高 採れたて野菜 大助かり  
 父の顔 うかべて作る おべん当  
 昼休み 娘の味で フルパワー  
 手をつなぐ それだけなのに ほっとする  
 その手から 伝わる強さ 守りたい  
 サイレンの音 頭をさげる おじいちゃん  
 戦争の体けん ひまこにはなす ぼん休み  
 かけ算は お経に聞こえて 眠くなる  
 そのリズム グンズに変えて 覚えちゃえ  
 初ゆかた 帯むすべるの だいじょうぶ？  
 任せとけ ママの師匠は ユーチューブ  
 ひさしぶり つないだてのひら あたたかい  
 そのぬくもり 大きくなった 君の手よ

【小学校 五年生】

石神二小 四年 遠藤 初彩  
 母 遠藤 史保  
 鹿島小 四年 田中 恵麻  
 父 田中 正泰  
 鹿島小 四年 堀内 凛希  
 母 堀内 睦希  
 上真野小 四年 豊田 翠  
 曾祖父 豊田 三男  
 なみえ創成小 四年 内山 くるみ  
 母 内山 みなみ  
 楷葉小 四年 五十嵐 日菜  
 母 五十嵐 順子  
 広野小 四年 坂本 華菜  
 母 坂本 美沙子  
 福田小 五年 菊地 悠仁  
 母 菊地 聡子  
 新地小 五年 花田 愛  
 父 花田 真幸  
 大野小 五年 村上 瑠菜  
 母 村上 由佳  
 山上小 五年 荒 悠真  
 母 荒 菜美  
 これだけで 笑顔にできる 父の味  
 受け継いだ 父のじまんの 金炒飯  
 夏休み だんごつくって はかまいり  
 送り盆 孫と作りし 白だんご

桜丘小 五年 和氣 すみれ  
 祖母 金子 謙子  
 中村二小 五年 佐々木 弘真  
 父 佐々木 光稀

味つけを 忘れぬように メモをとる  
母から子 途切れることなく 続く味

桜丘小 五年 鈴木 楓花  
母 鈴木 恵美

【 小学校 六年生 】

震災後 人の優しさ 教えられ  
その思い いつか忘れず 恩返し

飯豊小 五年 羽根田 好美  
母 羽根田 麻里

たきびの火 みんなで笑う 星の下  
炎揺れ 子の笑顔見て 心溶け

駒ヶ嶺小 六年 目黒 陽麻  
母 目黒 真実

日焼けして 脱げない水着 白と黒  
紫外線 気にせず遊ぶの 子供だけ

原町二小 五年 本間 日菜  
母 本間 美喜子

新盆や ばあに会いたい 夜の空  
香煙に 母のあかるき 面影よ

大野小 六年 笹木 陽仁  
父 笹木 祐司

名をよばれ 仕方ないなど させるハグ  
反抗期 まだ来てないと 安堵する

原町三小 五年 坂井 日々登  
母 坂井 郁恵

くやし泣き 涙でにじむ リングかな  
涙さえ 強さに変えて ゆけ我子

大野小 六年 笹木 心陽  
母 笹木 律子

また明日 仕事の父に 手をふるよ  
今日もまた 背中を感じる 温かさ

原町三小 五年 柴田 琉生  
父 柴田 智一

手を合わす 香りに染まりし 眠り月  
数珠の音 ひとつひとつに 祖母の声

中村一小 六年 上原 莉夢  
母 上原 彩乃

メガホンと 共にひびく 母の声  
いつまでも 母はあなたの 応援団

高平小 五年 米澤 理基  
母 米澤 夢依

七日間 見えているのは 窓の外  
治ったら いろんなものを 見に行こう

中村二小 六年 橋本 夏帆  
父 橋本 勝法

はかまいり 先祖がのこした 宝物  
時を越え 集まる笑顔 四世代

石神二小 五年 岡田 到真  
母 岡田 愛海

母の背に あと四センチ 夏休み  
抱き上げた あの日の高さ 空のいろ

中村二小 六年 鈴木 陽奈子  
母 鈴木 香澄

みそつけて 朝採れきゅうり おいしいな  
野菜採り キュウリとナスは 任せたよ

石神二小 五年 早坂 有未  
母 早坂 千枝

カーナビが こわれてぼくが ナビをする  
子のナビで ロングドライブ するはめに

原町一小 六年 鳥中 佑輔  
父 鳥中 邦真

草をかる じじの姿は たのしい  
つかれとぶ 孫の手には ビールあり

石神二小 五年 和田 莉々愛  
祖父 伊藤 要一

兄が聞く 「算数できた？」 ああつらい  
両親の 遺伝子そこに 認めあう

原町二小 六年 相澤 涼重  
父 相澤 広到

汗にじむ 声がつなぐよ 夏の空  
父と子で 選手・審判 ワンチーム

鹿島小 五年 田中 葵  
父 田中 正泰

目線下げ 話す感じ 不思議だな  
去年より 見上げる程に 成長中

原町三小 六年 高山 絢斗  
祖母 高山 洋子

シノーケル 魚が二ひき 家族かな？  
琉璃の海 二人と二匹 遊び行く

鹿島小 五年 中河 悠翔  
父 中河 賢太

弟と サッカー勝負 次も勝つ  
まけつづけ くやしいきもち もういやだ

大薨小 六年 村上 結心  
母 村上 心優

米といだ 美味しくなあれ お米さん  
ありがどう 美味しくなるよ お米さん

楢葉小 五年 古市 航沙  
母 古市 弘美

楽しいと お別れの時 づらくなる  
また来るね 心はいつも 一緒だよ

太田小 六年 豊田 真花  
母 志村五中 岩淵 春花

朝食の ウィンナー以上 じいのゆび  
好き嫌い 孫の残りで 太る腹

広野小 五年 瀧本 純平  
祖父 瀧本 清

反抗期 ぼうげんはいて すみません  
わかっている 今は言いたい 時期だよ

石神二小 六年 鈴木 瑛仁  
母 鈴木 みゆき

はなれても 姉妹の絆 より強く  
二歳差を 追い越されても 誇らしい

学び舎ゆめの森 五年 植杉 紗依  
ふたば未来学園中 一年 植杉 芽依

背くらべ 一つのまにやら 負けていた  
今日からは 見おろすほうだ ぼくのばん

石神二小 六年 佐藤 晴香  
母 佐藤 湊

夏休み 宿題あがる 母の庄  
夏休み 勝つも負けるも 自分次第

石神二小 六年 古川 心陽  
母 古川 亜希子

これ食うか じいのおつまみ 午後三時  
腹すかす 孫のためなら ふかしいも

中村一中 一年 蓬田 楓斗  
祖父 蓬田 和俊

親子での 練習の日々 羽に乗せ  
さあ一本 ひたむきな目に 熱くなる

鹿島小 六年 前田 一磨  
父 前田 幸真

追い越した 祖母の背中 丸くなり  
見上げても かわらぬ笑顔 あの頃と

中村二中 一年 佐藤 百華  
祖母 武田 寿子

「さーこい」と 仲間を守る 全力で  
守る背に 私も声で 背中押す

鹿島小 六年 林 春樹  
母 林 真理

「起きてるよ〜」 返事をしてすぐ 夢の中  
「起きてるの!?!」 三回怒鳴って やっと起き

中村二中 一年 村松 風紗  
母 村松 祐季

バーベキュー ナスだと思い 炭食へる  
あらららら 消臭効果 期待しよう

鹿島小 六年 若松 隼人  
母 若松 貴子

自分より 大きくなった わが子かな  
手をくらべ 母より大きい 自分の手

向陽中 一年 大森 美恵  
母 大森 憐人

だれよりも 一番にひびく 母の声  
メガホンを 振る手に力 筋肉痛

鹿島小 六年 高橋 芹奈  
母 高橋 映美

初試合 どきどきやわらぐ お弁当  
がんばれと 願いも詰める お弁当

向陽中 一年 佐藤 穂香  
母 佐藤 かおり

球・飯・風呂 ぼくのルーティン 祖父のそば  
ルーティン 今宵もつまみは 孫の笑み

小高小 六年 相沢 緑  
祖父 半谷 真司

帰り道 出くわす祖母は 手にお菓子  
変わらない 背丈越えても 可愛い孫

向陽中 一年 高橋 真紘  
祖母 佐久間 スミイ

日焼け止め 日がさで守る 夏のはだ  
この夏は 娘と日傘の 争奪戦

榎葉小 六年 門馬 照  
母 門馬 知里

ねえ、きいて 今日の出来事、いっばいね  
喜怒哀楽 全てが母の 宝物

原町一中 一年 渡辺 芽音  
母 渡辺 美奈子

買った物は ぼくが母の メモ帳さ  
あれ買った これも買ったが あれがない

いたて希望の里学園 六年 佐藤 斗也  
母 佐藤 黎生

初夏の日に 父の背中が 誇らしい  
いつの日か 共に走ろう 野馬原を

原町一中 一年 吉田 史杏  
父 吉田 達也

### 【中学校 一年生】

この夏に 二人で越えた 剣岳  
赤い空 子と見上げし 針の山

尚英中 一年 川嶋 想望  
父 川嶋 直樹

スケジュール アイドルなみの トランペット  
君の音 夢中になるさ 応援隊

原町一中 一年 鈴木 歌倫  
母 鈴木 仁美

母の声 背に感じつつ 前をむく  
朝の道 振り返らずに 子は進む

尚英中 一年 目黒 葵唯  
母 目黒 果奈

おこる声 母の元気に ほっとする  
聞いているの? 今日ほ夏春期? 反抗期?

原町二中 一年 室原 結  
母 室原 葉子

またそれか でも正論で ささります  
心配と 応援している 反抗期

中村一中 一年 高野 宏美  
母 高野 泉穂

こんなうち 好きでいてくれて ありがとう  
これからも 趣味について 語ろうね

原町三中 一年 坂入 美羽  
原町三中 一年 木幡 楓花

週末の 父の手料理 絶品だ  
疲れても やるしかないよ その言葉

中村一中 一年 石井 亮光  
父 石井 敏光

いただきます この味母のだ すぐわかる  
おいしそう 喜ぶ顔は かわらない

石神中 一年 池田 陽詩  
母 池田 美紗季

堤防に 祖父の背中を 思い出す  
釣り上げた 魚を振る舞う 祖父の味

中村一中 一年 松本 琉梨  
姉 松本 莉桜

認めない それが娘の 反抗期  
反抗期 私は絶対 入ってない

石神中 一年 武山 道絵  
母 武山 愛奈

【 中学校 二年生 】

トントントン リズムかなでる ご飯の音 子を想い ご飯を作る 楽しさよ	鹿島中 一年 母 青田 雪愛 青田 裕香	御先祖の 姿知らぬも 繋がる血 お経聞き 在りし日祖母に また会えた	向陽中 二年 母 陶 夏樹 陶 之子
暑い日に みんなでがんばる 暑さうし 汗流し ご先祖様に 恩返し	鹿島中 一年 母 吉田 奏良 吉田 智子	大三角 レンズで近づき 一点に 代償は 笑顔と歓声 青いペガ	向陽中 二年 母 佐藤 誉 佐藤 明花
ペン握る 母を見やれば 猛勉強 娘にも 見せてあげたい 合格証	鹿島中 一年 母 木村 希実 木村 恵	朝練へ 文句を言いながら 行く私 文句にも やる気まじってる 知ってんぞ	原町一中 二年 父 新妻 芭心 新妻 良典
真黒け 夢をける子に パスを出す 夕焼けや 父の笑顔へ ゴールける	広野中 父 馬目 雄介 馬目 羽琉	夕暮れに 背を向け走る 僕一人 空見れば 半月吾子も 道半ば	原町一中 二年 母 伊賀 翼 伊賀 宏美
家事手伝い 大変さを知る 夏休み 負担減り 増えた自立と 自分時間	広野中 一年 母 佐藤 結心 佐藤 菜保	あこがれの あの場所まで 突っ走る どろだらけ 白くするのが 応援だ	原町一中 二年 母 草野 颯樹 草野 こずえ
いつもいる 一番前で 見てる母 許してよ 私の推しは 子供達	ふたば未来学園中 一年 母 松川 颯志 松本 麻友子	大会で 父のリベンジ 果たしたよ この音が あの時出れば 悔やむ俺	原町一中 二年 父 岩間 伸文 岩間 そよか
朝起きて いつも聞こえる おはようと おはようと 素直に言えない お年ころ	尚英中 二年 母 菊地 芽生咲 菊地 由梨	夏休み 部活に塾に 多忙かな 子供との 過ごす時間も 閑散と	原町一中 二年 母 山本 果凛 山本 静子
この命 あなたがくれた たからもの この手から 旅立つ君も 宝物	尚英中 二年 母 武澤 柑太 武澤 文字	夏休み 休みたくても 休めない 頑張れと 背を押す事しか 出来ぬ母	石神中 二年 母 林 結愛 林 智香
暑い夏 孫と一緒に 波乗りし 夏休み 波をおいかけ 楽しいな	中村一中 祖父 杉岡 和幸 杉岡 海晴	炎天下 父の声飛ぶ ゴール前 日焼けして 夢追う子に 声を張る	石神中 二年 父 佐藤 蒼琉 佐藤 竜也
台所 汗かく母に 扇風機 あら涼し 菜箸持つ手 愛プラス	中村一中 二年 母 鈴木 琉冬 鈴木 千春	旅立ちを 背中を感じ 深呼吸 見ててねと 心で呟く ありがとう	鹿島中 二年 母 豊村 夕貴 豊村 来琉
録画した 朝ドラ一緒に 夜にみる 朝ドラの 感想言い合う 夜楽し	中村一中 二年 母 込堂 華 込堂 加代子	お盆だよ じいちゃんおかえり 笑顔の日 新盆に さみしさかくし 笑い合っ	鹿島中 二年 母 上杉 心美 上杉 真奈美
もうしょ日の 涼を求めて 海歩き 砂の上 足あとひとつ 波さらう	中村二中 二年 父 松田 莉衣奈 松田 大輔	梅ひとつ 母のぬくもり そっと知る 梅ひとつ 今日も元気で いてほしい	小高中 二年 母 小林 美音 小林 真理
夏空へ アイスの冷たさ とけていく 笑う顔 アイスより甘く 夏休み	向陽中 二年 母 小野内 柚月 小野内 麻記	夏休み お手伝いいっぱい 頑張るぞ 夏休み 終わるとさみしい 子の存在	双葉中 二年 母 猪狩 呉也 猪狩 和佳奈

米高し 家計簿にらむ 母のかお  
三杯目 おかわりする子に にが笑い  
忘れ物 ないのかすぐに 聞いてくる  
忘れてる 気づかず行くな 学校に

【中学校 三年生】

ふたば未来学園中 二年 菊池 りく  
母 菊池 奈緒  
八年前 波達 凛音  
母 波達 美沙紀

夏祭り 母の浴衣で 今風に  
浴衣着に 若き自分を 重ね見る

夏野菜 孫と収穫 なお美味しい  
手伝うよ 熱中症の 見張り番

浴衣紐 祖母の温もり ほどけずに  
よみがえる 譲りし衣に 夏の風

冷蔵庫 開けて驚く サプライズ  
母の日に プリンを作り 帰り待つ

暑そうに 見えた墓石に 水をかけ  
墓参り 優しい笑顔 想い出す

夢かたる 未来への道 共に歩む  
散歩道 兄弟の背中 老ける親

たたいまと 聞いた瞬間 ほっとする  
おかえりの その一言に 疲れとぶ

手をつなぎ 不安も消える 手のぬくさ  
つらき夜 君の声聞き 生きられる

ふと気付く 父に似てきた 自分の手  
差したす手 気付かぬうちに おとなの手

まっすぐに 努力重ねる 君が誇り  
見てくれて そのひとことで また頑張れる

おいしいね じいじの野菜 もういっこ  
おいしいの その一言で 苦勞とぶ

尚英中 三年 吉田 怜奈  
母 吉田 美智子

中村一中 祖母 内藤 よし  
三年 内藤 幹太

中村一中 三年 木村 華乃  
祖母 齋藤 勝子

中村一中 母 阿部 恵美  
三年 阿部 陽菜乃

中村二中 三年 松下 萌咲  
相馬高校 二年 松下 心咲

向陽中 三年 馬場 映亘  
父 馬場 久徳

向陽中 三年 村田 京  
父 村田 和彦

原町一中 三年 仲宗根 祐人  
母 仲宗根 三千代

石神中 三年 伊藤 陽平  
母 伊藤 充子

石神中 父 山川 良太  
三年 山川 麗愛

鹿島中 三年 青田 七彩  
祖父 山田 定男

【高等学校、高等部】

消されない 母のスマホの 黒歴史  
いつ見ても 笑みが浮かぶ 子の動画

父よりも はやくゴールへ 夏の空  
子に抜かれ 少しうれしく 風の道

ためらわず 母にだけ言う 胸のうち  
弱音だけ 私に見せる 子が誇り

頑張れよ 家族はいつも 味方だよ  
つらいとき 「ひとりじゃない」と 前を向く

帰宅後の 豚しゃぶそうめん 涼む晩  
酷暑なり 明日もがんばれ 夏の夜

富岡中 三年 加藤 百花  
母 加藤 早苗

楷葉中 三年 山路 真白  
父 山路 康平

楷葉中 父 田中 愛純香  
母 田中 ひろみ

楷葉中 父 渡邊 清仁  
三年 渡邊 優奈

ふたば未来学園中 三年 山野邊 心  
母 山野邊 道子

原町高校 一年 高野 菫花  
母 高野 奈々

原町高校 一年 濱名 早千恵  
母 濱名 春乃

原町高校 一年 金子 明日香  
祖父 金子 好明

原町高校 一年 赤石澤 永輝  
母 赤石澤 歩美

原町高校 一年 渡部 ルミ子  
母 渡部 咲音

原町高校 一年 鈴木 亜優  
原町高校 一年 岩本 真優

原町高校 一年 平 翔吾  
父 平 寿和

相馬支援学校 高等部一年 佐藤 佑音  
相馬支援学校 高等部一年 横山 隆弥

春の空 綺麗な月が 美しい  
冬の空 白き輝く 満月よ

声枯れて 我が子の名前 叫ぶ夏  
母の声 背負った期待 いざ出陣

あさがおが はなびとそっくり なつまつり  
夏祭り 浴衣姿の 君愛し

音に乗せ エールを送る 被災地で  
復興を 支える音は 風に乗る

ガサガサあみ えびがいつぱい およいでる  
木戸川の 水面に映える 三姉妹

なにげない クラスの喧騒 こち良い  
桜咲き 道別れるまで あと少し

手も足も 体もビリビリ おまつりだ  
太鼓打つ 幼き腕にも たくましさ

弟が 起きてないでの テレビをつける  
優しいね 弟思いの お兄ちゃん

すくすくと 大きくそだつ ミニトマト  
夏野菜 自然の恵みが つまってる

相馬支援学校 高等部三年 廣瀬 翔惟  
相馬支援学校 高等部三年 横山 隼

なつまつり 子どもたいこが たのしみだ  
夏の夕 あんこ地蔵で 受け継ぐ音

【小学校 一年生】

【小学校 二年生】

ひかるはな よるぞらいっぱい ひらいたよ  
夜空裂く 花火の色に 子の笑みが

けやきの木 由来教えて お父さん  
忘れたよ 父に教えて 木の由来

けいてきを ならしてくれよ じょうばんせん  
大好きな 電車に乗れて 見る景色

なみあそび はじめておよいだ きたいずみ  
娘の背 波に重ねて 懐かしむ

あしあつい かいがらひろい たのしいな  
朝焼けや 松川浦に 漁火か

いつの日か わたしもとりたい ごしんきを  
馬通じ 伝統受け継ぐ 相双で

とおいまち ばばのふるさと とつとりけん  
経て北へ きびす返さず 得た家族

軽トラで 早く行こうよ 田んぼまで  
孫のため 残してあげたい 原風景

うれしいな かぞくみんなで うたうこうか  
三代目 同じ学び舎 通学帽

おかあさん 行ってみたいな ふるさとに  
故郷の じゃんがら踊り 思い出す

はたのいろ ごがつの空に よくにあう  
車月野に 蹄鉄の音 地に響く

この海で パバも遊んで いたのかな  
釣師浜 遊ぶ息子に 自分重ね

ふるさとに 帰りたいけど 家がない  
はらまちと みんなだいすき いいえがお

スイカとり うらの畑へ さあ行こう  
イノシシに 食われる前に さあ急げ

忘れないう あの日の記憶 じいじとの  
ふるさとの あの日の景色 蘇る

大野小 三年 青田 陽樹  
父 青田 規秀

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

駒ヶ嶺小 三年 加藤 叶泰  
父 加藤 祐樹

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

双葉北小 二年 森田 真心  
母 森田 朝美

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

なみえ創成小 二年 吉田 智明  
祖父 平田 三男

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

上真野小 二年 福島 葵  
母 福島 愛

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町一小 二年 椎根 実織菜  
父 椎根 敦

鹿島小 一年 渡部 琉空  
父 渡部 新

新地小 二年 秋田 晃成  
母 秋田 千穂

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

新地小 二年 森 花帆  
母 森 瑠花

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

桜丘小 二年 馬場 琉生  
母 馬場 あい

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

原町三小 二年 新妻 杏菜  
父 新妻 良宗

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町一小 二年 椎根 敦  
父 椎根 敦

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 二年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 二年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町一小 一年 渡部 百合  
母 渡部 理沙

原町一小 一年 生駒 香乃  
父 生駒 智

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

新地小 一年 小野 琉  
母 小野 菜

原町三小 二年 井上 正晴  
母 井上 正晴

原町三小 二年 佐藤 未来  
母 佐藤 未来

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 小谷津 千津  
母 小谷津 妃希

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

原町三小 一年 岩崎 悠人  
母 岩崎 麻里

大きな木 この木いつから はえてるの  
いつだらね 子供のババも 見上げてた

八幡小 三年 柳澤 優里  
父 柳澤 学

だての夏 おじいちゃんちは ももだらけ  
ピンク色 ニコニコ笑顔の 孫と桃

中村二小 三年 吉田 岳  
祖父 吉田 茂

我が相馬 自然いっばい ありがとう  
変わらない 気持ちをくれる 浜風が

日立木小 三年 門馬 睦  
母 門馬 那希沙

盆唄の 太鼓でつなぐ 地域の輪  
太鼓打つ 子に継ぐ音や 盆踊り

原町一小 三年 福崎 はのん  
母 福崎 歩未

放れ馬 いきいき走り 一等賞  
砂まみれ 風切り走る 甲ちゅう競馬

原町三小 三年 野方 涼雅  
母 野方 真由美

ぼんおどり うけつぐ心 まもりたい  
残したい 楽しく笑う その笑顔

石神一小 三年 和田上 大城  
母 和田上 彩子

のまおいに ういじんはたし らいねんも  
雨の中 ほらがいふいて りっぱだよ

石神二小 三年 中川 明斗  
母 中川 愛美

迎え火を そつともして 合掌す  
このあかり じいちゃんにも 見えてるかな

石神二小 三年 大井 莉那  
母 大井 愛莉

### 【小学校 四年生】

なりひびく にわたり神社に たいこの音  
お囃子に 心重ねて パチ振る子

新地小 四年 角 奏亮  
父 角 栄二

大きな木 切りたおしたぞ うれしいな  
荒れた庭 孫と一緒に 再開発

大野小 四年 安東 優月  
祖母 安東 利奈子

目がさめて 一緒に歩いた 松川大橋  
ふるさとの 光り輝く水面 心に残る

中村二小 四年 菊地 碧  
母 菊地 奈緒美

太鼓うて 夜空にひびく ぼくらの舞  
小さき日 踊りし道を 子も歩む

桜丘小 四年 西村 晃佑  
母 西村 静枝

うすれゆく あのころの日々 子に伝え  
私たち 伝えていくよ だいじょうぶ

原町三小 四年 門馬 貴和  
母 門馬 永和

バカバカと 馬の行列 ぼくの町  
出陣だ 人馬の熱気で 雨あがる

大薨小 四年 齋藤 楓真  
母 齋藤 美香

ふたつぬま 大きな花火 さかせたよ  
汗かいて 笑顔広がる 盆踊り

広野小 四年 箕川 董  
父 箕川 幸司

夕やけの かがやく空の 赤とんぼ  
赤とんぼ ふるさと想う 風物詩

広野小 四年 黒田 直寿  
父 黒田 将史

### 【小学校 五年生】

伝どうの 踊りたいこ ひろうする  
賑やかな 神楽見物 風物詩

福田小 五年 林 聖馬  
母 林 真理子

ぼん踊り 左に右に お月様  
声合わせ 仲間と踊る ねがいこめ

八幡小 五年 菅野 基陸  
母 菅野 ちとせ

夜の海 ゆれて流れる とうろう流し  
流れる灯 思いにふける 盆の夕暮れ

中村二小 五年 松下 覚征  
父 松下 護

ふるさとの 夏の夜空に 螢飛ぶ  
螢飛ぶ 追いかける子の 姿なし

飯豊小 五年 佐藤 星那  
母 佐藤 恵美子

震災を 知らないぼくは 母にきく  
震災後 生まれた我が子 語り継ぐ

原町三小 五年 北里 優  
母 北里 麻理子

帰るたび 変わらぬ笑顔 たいままと  
ふるさとの 声が背中を 押してくる

太田小 五年 鈴木 空翔  
母 鈴木 利沙

駆ける騎馬 鳴るぞ法螺貝 神の旗  
野馬追いの 花がさいたよ 騎馬の旗

鹿島小 五年 郡 茜  
母 郡 来牙

夏の海 砂浜あつく 猛ダツシユ

鹿島小 五年 田中 彩陽  
母 田中 尚美

ふるさとの 未来のバトン わたす番  
馬歩く のどかな風影 いつまでも

小高小 五年 渡辺 愛翔  
父 渡辺 哲也

【小学校 六年生】

鹿狼山 母と登って 初日の出 いつからか 子の手に引かれて 山登り	新地小 六年 母	濱部 里咲 濱部 理栄
山登り 見上げる先に 鹿狼山 夏の山 上から見える 復興の海	駒ヶ嶺小 六年 母	村山 千代乃 村山 恭子
どうどうと たつあの山は 塩手山 せいせいと 流るる川は 宇多の川	山上小 六年 父	荒 純愛 賢一郎
朝ご飯 毎日食べる 祖父の米 孫のため 田んぼと畑 往復し	桜丘小 六年 祖父	大浦 葵 鎌田 芳彦
実る桃 みんなの愛が つまってる ほお張ると 甘味と笑みが あふれ出す	高平小 六年 父	平山 愛理沙 平山 智
震災の 面影見せない 浜通り 復興し みんなが住める まちづくり	高平小 六年 母	櫻井 桜 櫻井 理恵子
夜になり かえるの合唱 にぎやかだ 夏の夜 窓を開けたら コンサート	石神二小 六年 母	安藤 龍之介 安藤 加奈恵
大自然 緑豊かな うちの村 朝かぜに まじる鳥こえ 葛尾や	葛尾小 六年 父	松本 澄伶 松本 晴樹
暗やみに チカチカ光る ホタルかな 夏の宵 平家のもしび 空に舞う	楷葉小 六年 父	松本 惇弘 松本 文弘
日がのぼり 六時にながれる 汽車の歌 帰り路 とんぼのめがねで 日が沈む	広野小 六年 父	長野 哲大 長野 宗利
稚児鹿舞 ひと夏かぎりの 角を立て 移り住み 鹿の踊りを 継ぐ鹿の子	学び舎ゆめの森 六年 父	清水 新太 清水 壮太
夕方の 空を飛んでる トンボたち 赤とんぼ 追ってた我が子を 懐かしむ	川内小中学園 六年 母	猪狩 結菜 猪狩 真由美

【中学校 一年生】

鹿狼山 登って見た 初日の出 初日の出 登り疲れて 見逃した	尚英中 一年 母	荒 蒼佑 荒 千恵子
浜焼きの タレの香りが たまらない 浜焼きで 復興願い 人の波	中村二中 一年 母	佐藤 悠磨 佐藤 久美
じっと待つ 時間も楽しい 魚釣り 待つ時間 海も子供も きらきらと	中村二中 一年 母	今野 虹七 今野 真理江
ふるさとの 希望をむねに 生きていく あの頃は： 親子で語れる 気づきかな	向陽中 一年 母	杉岡 和佳 杉岡 水佳
騎馬武者の 想いを繋ぐ いざ参れ 繋ぐんだ 家族の想い いざ参る	石神中 一年 父	佐藤 瑞起 佐藤 遥翔
夕焼背に 鎧まとった 剛の者 パコパコと 童子が通る 帰り馬	小高中 一年 祖母	関場 隆介 関場 昌子
夏の空 雲一つない 日隠山 水田に 風吹きつけて 稲なびく	学び舎ゆめの森 七年 母	菅波 瑠那 菅波 恵美
セミが鳴く 夏が来るよと お知らせに 大騒ぎ 地元の自慢 盆ダンス	川内小中学園 七年 父	渡邊 永琉 渡辺 梨々奈
給食で 福とら食べて ほほ落ちる 福島の 良さを伝える 浜の駅	中村一中 二年 母	鳥畑 潤乃 鳥畑 徳子
故郷の 心しずまる 波の音 波の音 母の心も 浄化する	中村一中 二年 母	角田 優斗 角田 朋美
相馬市の ふぐのさし身を 食べたいな ふぐさしと ふぐのひれさげ マリアージュ	中村一中 二年 父	高橋 航 高橋 進
海を見て えみがこぼれる 小橋川 帰ろうよ 言いつつ遊ぶ 子供より	向陽中 二年 母	小橋川 愛風 小橋川 麻美

【中学校 二年生】

海の幸 負けじとあるよ 山の幸  
青と碧 囲まれ癒し 田舎町

この町が 僕がいちばん おちつく町  
今はここ 南相馬が ふるさとだ

人と馬 思いを紡ぐ 野馬追だ  
海越えて 野馬追楽しむ 嬉しいな

繋いでいく あの年生まれた 三月を  
後世にも 風化させない あの頃を

初めての 津波警報 つのる恐怖  
あの時は… 語りつつ荷物 たしかめる

懐かしき 耳に残りし 盆唄よ  
盆踊り 友をまねつつ 輪に入る

わたしから 妹につなが 町の舞  
舞踊る 百年先も 続いてけ

ふるさとへ 想いを込めた 花言葉  
青空と みどりに映える 白い花

強い思い 百年先へ つなげたい  
ふるさとの 再生育くむ ぶどう園

### 【 中学校 三年生 】

ふるさとの 海をながめて 平和願う  
思い出す 君の寝顔と 散歩道

巫女神楽 野馬追い祭りは 胸おどる  
ふるさとの 伝統伝え 守りたい

野馬追の 砂塵舞い立つ 初夏の空  
たてがみを 風になびかせ 旗を取る

復興の 灯りやさしく 海の音  
夏の海 灯台光る 波の音

向陽中 二年 佐藤 静波  
父 佐藤 栄伸

原町一中 二年 三品 孝介  
母 三品 亜衣子

原町一中 二年 今野 希衣  
母 今野 亜紀

原町一中 二年 渡邊 花珠  
母 渡邊 陽子

鹿島中 二年 増田 佳那  
母 増田 文子

なみえ創成中 二年 渡邊 千春  
母 渡邊 空

楢葉中 二年 青木 苺香  
楢葉小 六年 青木 菜々香

広野中 二年 大和田 真咲  
母 大和田 こずえ

ふたば未来学園中 二年 作山 結音  
父 作山 博俊

尚英中 三年 濱部 匠  
母 濱部 理栄

尚英中 三年 小野田 莉音  
母 小野田 麻衣

中村二中 三年 松田 翔  
母 松田 富美子

中村二中 三年 山岡 龍生  
母 山岡 友理恵

祖父と祖母 一緒につくる コシヒカリ  
待ち遠しい こがね色に広がる たんぼかな

何気なく ふと見る景色 心地良い  
さりげなく 見てみる横顔 良い笑顔

外眺め どこを見ても ソーラーパネル  
環境を 守る未来と 共存を

つないでいく 過去の希望と 歴史(ヒストリー)  
生きていく 共に創るは 物語(ストーリー)

祭りなき 暑く寂しい 馬の街  
この夏 くらいなく楽しめ 青春だ

初夏の朝 静けさの中に 蹄の音  
騎馬武者の 勇壮な祭り 相馬野馬追

童謡が 奏でる音色 響く町  
聞き慣れた ふるさとの歌 懐かしむ

### 【 高等学校、高等部 】

記憶なし でも震災は 心の奥  
鮮明に あの頃の日々 語りつく

浴道に 響く蹄と 甲冑の音  
野の原に 御神旗上がる 五月晴れ

向陽中 三年 武田 尚汰  
母 武田 有美

向陽中 三年 桑折 菜々  
父 桑折 健

磯部中 三年 土屋 葵  
母 土屋 沙智子

原町三中 三年 木幡 夏帆  
原町三中 三年 山田 瑠璃葉

石神中 三年 船山 瞬  
母 船山 佳那

鹿島中 三年 北元 恒志  
父 北元 秀明

広野中 三年 石井 悠翔  
母 石井 美和子

原町高校 一年 井上 莉子  
母 井上 早貴

原町高校 一年 清水 花音  
母 清水 茜

## 【一次審査員の方々から】

○野菜作り、手伝い、部活動、夏祭り、旅行などの題材が多く見られました。内容が同じようになってしまうがちなので、地名を入れたり、具体的な出来事を入れたりすると、個性が発揮できると思います。親子の関わりを温かくほのぼのとした素直に表現している句が、心に残りました。

○父母と子、祖父母と孫、兄弟、姉妹と様々な作品がありました。作品を読んでいて、家族の温かさ・思いやり、ふるさとへの思いを身近に感じることが出来ました。子どもの成長を温かく見守る親、祖父母の姿が目につかびました。また、一つ一つから、それぞれの家族への思いや願いが伝わってきました。

○子どもたちの優しい感性に触れてよかったです。親と子の絆（親が子と思う、子が親を慕うこと）が色濃く感じました。ふるさと部門では、野馬追の句が多く、楽しく思った十七字が夏休みの課題に定着していることを感じ、嬉しく思いました。「作品を作ったきっかけ」は、子ども自身の字で大変よかったです。

○父親と子、母親と子の関係が鮮やかに描かれていて、親を思う子の心情、子の成長をほほえましく見守る親の姿が、しっかりと思い浮かぶ作品が多かったように思います。ふるさと部門への取組は、絆部門に対して難しい面もあったのではないのでしょうか。災害や防災等は標語的な印象の作品が見られ、想いや気持ちの表現が少なかつたように感じました。

○「絆部門」の作品は、二人の心の結びつきや思いやりのようなものが感じられるものが多く見られました。また、「ふるさと部門」の作品は、自分の住んでいる地域に対する思いを言葉に表しているものが多く見られました。絆部門でもいいと思える、素敵な作品もありました。

○親子の掛け合いのような句が、面白いなと思いました。初めて高校生の作品を読ませていただきました。受験のプレッシャーと、友だちの交流の深さを感じました。

○子どもの素直な表現、思いを大切にしてふれ合おうとする親、家族の表現が多く、この事業の成果が感じられました。

○共通の体験について、それぞれの思いが綴ってあると共感できました。相手を思いやる姿勢が双方に見られると「絆ふれあい」というタイトルに合致してよいと感じました。

○親子の様子がわかり、楽しい作品が多く見られました。

○家庭での過ごし方が伝わってきました。

○暑かった夏の題材も多く、環境に対する考えも感じられました。

